

**問** 県道28号線の4車線化による公園の整備について



植山拓海議員  
(益城中央小6年)

県道28号線の4車線化により、公園もできるときいています。公園には、どのような遊具や設備をお考えでしょうか。

子どもたちが楽しめるような水辺やプールなどの遊び場所を設置してほしいです。また、近くに子ども向けの駄菓子屋があると嬉しいです。

**答** にぎわいづくりに力を入れる

議員ご提案の公園の整備については、4車線化の事業により遊具を置いたり、プールがある公園を作る事は、残念ながらできません。

しかし、町民の皆さまからの提案で、災害時に避難したり、みんなが集まり行事などを開催できる広場を、各地区に作っています。

また、4車線化事業では、にぎわいのある、魅力ある道路にしようと、県や町、地域の皆さまなど関係者で協議をしています。例えば、道路沿線に皆さまが楽しく利用できる広場イベントが開催できる空間を作り出す事、人や自転車安全に通行できるように、広い歩道の整備や木陰を作る樹木を植える事などです。

震災前は、県道28号線沿いにはさまざまな店があり、にぎわっていました。今後、議員ご提案の駄菓子屋なども含めて、元のにぎわいが戻り、これまで以上に活気のある町になるよう県とともに頑張っていきます。

議員の提案された事は、これからの話し合いの中で大いに参考になると思われまます。今後、町は、「住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」を目標に、まちづくりを行っていきます。議員におかれましては、今後も、機会があれば町への提案をお願いします。

**問** PVプロモーションビデオ制作について



遠山みのり議員  
(益城中2年)

現在、益城町は、熊本地震から3年が経ち、少しずつ復興してきています。そんな元気になりつつある益城町に、日本中、世界中から多くの人に訪れていただきたいと思っています。そこで、益城町の良いところや、住民のユニークな動画を撮影してみ

てはどうでしょうか。

**答** 復興状況を見据えながら検討

議員ご提案のプロモーションビデオ制作による町のPRは、情報発信の有効な手段の一つだと思っております。

本町では、平成27年度に地方創生交付金を活用し、益城町移住定住促進プロモーションビデオを制作しており、制作するに当たって中学生へのアンケート調査やBGM制作ワークショップなどを行い、熊本在住のシンガーソングライター・樋口一さん作詞作曲の益城町イメージソング「オカエリナサイが聴こえる町」をBGMに、秋津川の壁面前で撮影した「なんでもない毎日が宝もの」がエンディングとなっている動画を制作しております。

また、熊本地震後にも、職員の手作りによる、被災状況や復旧状況を組み込んだ写真のスライドショーを作成しております。

このような動画の制作につきましては、今後も、復興状況などを見据えながら、作成時期や作成方法など検討を行い、動画を作成し町のPRに努めます。

さらに、私(町長)自身も東京や大阪の会社などのトップの人が集まる会合などに直接出向き、地震への支援のお礼や町のPRをしたいと準備

を進めているところであり、さまざまな機会を捉えて、トップセールスにも取り組み、国内外からこの町に来ていただくために、町のPRに努めて参ります。

今回ご紹介できませんでしたが、その他にも素晴らしい質問が出されました。

「道路の修復について」

戸田 景介議員

「水たまりについて」

三嶋あおい議員

「川遊びや釣りができるようにしてほしい」

山田 美憂議員

「学校図書について」

中島史央里議員

「益城町への大型商業施設誘致の要望」

菅野 裕那議員

「通学路の交通安全について」

上野 善史議員

「津森地区の活性化」

福山 雄斗議員

「商業の活性化」

山本 悠太議員

「大型遊戯施設について」

丸山 未紗議員